

# CASBEE 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 |                              | 1-2 外観 |                         |
|----------|------------------------------|--------|-------------------------|
| 建物名称     | (仮称) 京都市上京区今出川 新築工事          | 階数     | 地上7F                    |
| 建設地      | 京都府京都市上京区今出川通室町高入園出シ町288、他6筆 | 構造     | RC造                     |
| 用途地域     | 商業地域、第二種住居地域、防火地域、準防火地域      | 平均居住人員 | 75 人                    |
| 地域区分     | 6地域                          | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値)         |
| 建物用途     | 集合住宅                         | 評価の段階  | 実施設計段階評価                |
| 竣工年      | 2020年3月 予定                   | 評価の実施日 | 2018年10月2日              |
| 敷地面積     | 698.10 m <sup>2</sup>        | 作成者    | (株)IAOプランニング&デザイン 黒田 将史 |
| 建築面積     | 530.53 m <sup>2</sup>        | 確認日    | 2018年10月5日              |
| 延床面積     | 3,263.41 m <sup>2</sup>      | 確認者    | (株)IAOプランニング&デザイン 黒田 将史 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

| 3 設計上の配慮事項   |  |   |
|--------------|--|---|
| 総合           | 建物利用者の快適な生活環境を維持するため、安全性の面からはF☆☆☆☆の内装材の使用し、耐用年数の高い建材の利用、節水型機器の使用など資源の有効利用に心がけている | その他<br>特になし                                 |
| Q1 室内環境      | 外皮性能を高め、住宅性能表示基準断熱等性能等級4取得F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用                                    | Q3 室外環境 (敷地内)<br>できる限り緑地を設けている              |
| LR1 エネルギー    | LED照明を採用し設備システムの効率化に配慮している   | LR3 敷地外環境<br>ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=81% |
| Q2 サービス性能    | 情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう大容量ブロードバンド設置し、耐用年数の高い建材を採用している                           |   |
| LR2 資源・マテリアル | ノンフロン断熱材の採用やエコ製品の採用等環境保護に努めている<br>節水型便器を採用し資源の有効利用に努めている                         |   |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される